



Organic Picked Bass for Kontakt

日本語ユーザーズマニュアル

ご注意

- ・このドキュメントはOrganic Picked Bass for Kontakt(以降「本製品」とする)の基本的な使用方法を記したマニュアルです(以降「本マニュアル」とする)
- ・本マニュアルは本製品利用者のいかなる利用環境においても同一の動作を保証するものではありません。本製品に含まれる不具合に関しては順次無償アップデートの提供をいたします。
- ・本マニュアルに含まれるスクリーンショット等は参考画像であり、すべてのユーザーの環境で同様の表示がされるとは限りません。
- ・本マニュアルのすべての文章・図の著作権は、製品開発元であるFujiya Instrumentsに帰属します。改変・転載・無断 配布の行為を禁じます。
- ・本マニュアルの内容は予告なく修正されることがあります。

はじめに

この度はOrganic Picked Bassをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

Organic Picked Bassはハイエンドベースで有名なCelinderのベースをピック弾きで丁寧にサンプリングした、高音質高機能のエレキベースサンプリング音源となっています。レガートによるハンマリングやプリング、スライドなどを入力する機能はもちろん、弦別にサンプリングしたことによる表現力と、打ち込みにおける弦の選択の労力を極力低減する工夫が組み込まれており、操作性は非常にシンプルになっています。

Fujiya Instrumentsについて

私達は、DTMユーザー、演奏家、作編曲家、ソフトウェア開発者としての視点をもって、文化の発展に貢献するサンプリングライブラリを追求することをポリシーとするデベロッパーです。

Web: <http://fujiya-instruments.com>

Mail: info@fujiya-instruments.com

1 ベースについて

ベースはハイエンドベースのCelinderのAura4を使用しました。
弦はKenSmithのステンレス弦を使用しています。



キースイッチ

B0 - G4	発音範囲	実際に音が鳴ります
A#0	ブラッシング	直前に鳴ったノートと同じ弦の同じフレットのブラッシングが鳴ります
A0	ハンド・ストップ・ノイズ	右手で弦に触れた時のノイズが鳴ります（音を止めるのに使います）
G#0	ノイズレス・ストップ	無音で音を止めます
G0	リリース・ノイズ	弦から指を離れた時ノイズが鳴ります
F#0	スライドダウン	スライドダウンで音を止めるのに使います（直前に鳴った音程に合わせて自動的に選択されます）
C0 - E0	弦選択	弦を選択します
F-1 - A#-1	奏法選択	奏法を選択します
D-1 - E-1	ストロークの選択	弦を弾くストロークを選択します
B-1もしくは C5以上	ハンド・ノイズ	フレットを擦る音が鳴ります（B-1の場合はランダム再生）

音を止めるには

OneShotが有効の場合

音を止めるには、G0かG#0かA0を使います。G0は弦から指を離した時のノイズが鳴ります。G#0はノイズ音がありません。A0は右手で弦の振動を止める時のノイズが鳴ります。ノイズ音は直前に鳴っていた弦、もしくは弦とフレットに従って適切なノイズが自動で選択されます。

スライドダウンで音を止めるにはF#0を使います。こちらでも直前に鳴っていた弦とフレットに従って自動で適切なスライドが再生されます。

OneShotが無効の場合

ノートオフで音が止まります。

弦の選択

弦の選択は、C0では音程に対して自動で選択されるオートモードになります。C#0からE0を選択すると、それぞれの弦が優先的に選択されます。

4th Limit、3rd Limit、2nd Limitは、オートモードにおけるそれぞれの弦の上限値（何フレットか）を指定できます。

C0	オートモード（弦が自動的に選択される）
C#0	4弦が優先的に選択される
D0	3弦が優先的に選択される
D#0	2弦が優先的に選択される
E0	1弦が優先的に選択される

4th Limit	この値以下のフレットは4弦が選択される
3rd Limit	この値以下で4th Limitより大きいフレットは3弦が選択される
2nd Limit	この値以下で3rd Limitより大きいフレットは2弦が選択される

奏法の選択

F-1	サステイン (レガート時に自動でハンマリング&プリング)
F#-1	サステイン (レガート時に自動でスライド)
G-1	ミュート
G#-1	ハーモニクス
A-1	グリスアップ
A#-1	グリスダウン

ストロークの選択

D-1	オートモード (ダウンとアップの交互)
D#-1	強制ダウンピッキング
E-1	強制アップピッキング

※ストロークの選択はサステインとミュートのみ対応

その他のコントロール

PB Range	ピッチベンドレンジの変更(MIDI CC6で設定可)
Vib Range	ピッチベンドレンジに対するパーセンテージでF0の揺れ幅を指定
F0	ノートオンでピッチベンドアップ、ノートオフでピッチベンドダウン (ビブラートの入力に使用)
S.Speed	スライドの速度設定 (2段階)

MIDI CC

CC6	ピッチベンドレンジ
CC20	String4 Limit
CC21	String3 Limit
CC22	String2 Limit
CC23	スライドの速度切り替え (2段階)
CC24	One Shotのオン・オフ (0-64 オフ、65-127オン)

※お使いのDAWによっては、プロジェクトの読み込み時にピッチベンドレンジが0に初期化されてしまうバグがあります。その場合は、MIDIデータの先頭で、CC6を使用してピッチベンドレンジを指定するようにしてください。

クレジット

開発元	Fujiya Instruments
演奏・録音・波形編集・マッピング	藤谷 大基
スクリプト	藤谷 大基
マニュアル制作	藤谷 大基
GUIグラフィックデザイン	藤木 穰

スペシャルサンクス

様々な分野でご指導して下さった多くの先生方
Fujiya Instrumentsをご支援、ご協力頂いたすべての皆様